



きれいな普代浜に

旭日区の老人クラブ（日向良介会長）では地区活動の一環で7月26日、地区の中学生と一緒に普代浜の清掃活動を行いました。

午前10時30分から同クラブのメンバー、中学生

ら約30人が集まり、一斉に取り掛かりました（写真）。波で打ち上げられた海草類がたくさんありましたが、1時間後にはきれいな普代浜になりました。清掃終了後は、自然休養村管理センターで“社会を明るくする運動”広報ビデオを鑑賞し、この日の地区活動を終えました。



黒埼灯台を初公開

陸中黒埼灯台の一般公開（村観光協会主催）は七月十九日開かれ、県内外から約二百人が灯台からの太平洋のパノラマを楽しみました（写真）。

同灯台の一般公開は一九四七年に設置されて以来初めて。灯台を管理する岩手航路標識事務所（職員が案内役を務めました）。

同灯台は当初「普代灯柱」として設置され、高さは12.2m、水面からは14.2・9mと東北では最も高く、光度は23万カンデラ。日本の灯台五十選にも選ばれています。

平和の誓い新たに

8月4日、太平洋戦争から59年目の夏、今年も村戦没者追悼式が英霊塔の前で行われました。気温30度を超える暑さの中、式には遺族ら約80人が出席し、不戦と平和の誓いを新たにしました。

村遺族会の中野ミヨ会長が「最愛の肉親を失った私たち遺族の悲しみは、永遠に忘れることはできません。戦後59年、遺族の高齢化が進んだ状況ですが、互いに助け合いながら、わが国の平和と世界の平和のために、力を尽くします」と追悼の言葉を述べました。引き続き、参列者全員が焼香し、犠牲者百人のめい福を祈りました（写真）。

